



Vol.56

行動派宣言

KOMATSUZAKI FUMIYOSHI
2014

みなさんの広い意見を募集しております。

ごあいさつ

御嶽山噴火、広島市豪雨による被災者の皆様に心よりお見舞いを申し上げます。災害は突然訪れます、想定外を全てなくすということではできませんが、千葉市民のため、できるだけ多くのことを、対応可能にするために頑張っていく所存です。また学級崩壊に対しての学級経営、ことぶき大学の方向性についての質疑もご報告します。また今議会で質問した、磯辺・茂呂町線ワンズモール付近の狭隘道路対策については、改めてお知らせ致します。今回は、懸案だった宮野木地区の宮野木大橋(たいこ橋)・土木事務所付近にバス路線が新設の方向が示されましたので併せてご報告させていただきます。

土木事務所近隣についてバス路線が新設されます！

下図の路線にバス路線が今春新設される事となり、宮野木大橋(たいこ橋)下の交差点改良も完了します。

※新設バス停名は仮称であり、今後変更となる場合があります。



私は千葉北高校に通っていましたが、その頃は稲毛方面からバスを利用するならば、京成宮野木団地から歩くか、国道16号からやはり歩くしか有りませんでした。その後私が議員になる前にはプラウドタウンが完成し、草野車庫から稲毛駅までのバスの宮の社線が運行するようになりました。一方草野車庫から新検見川駅を経由し、海浜病院までの路線も運行するようになりましたが、土木事務所付近や、つくしの台、京成第二、宮の社・京成宮野木団地の一部の皆さんのバスの利便性は向上しませんでした。

しかしこの地区にバスを通すには、様々な課題がありました。宮野木スポーツセンターから河内屋に出る交差点・千葉北高校から国道16号に出る交差点の渋滞、宮野木大橋(たいこ橋)下交差点の右折待ち車輛の危険性等でした。

そこで様々な発言機会を要望しました。地元の皆様、同僚の山本直史市議のご協力もあり、イオンタウン前に右折レーンが設置されることとなります。私がまだ国会議員の秘書の頃に相談のあった、宮野木大橋下の交差点も信号が設置され、交差点改良がまもなく完成します。これにより河内屋の交差点の課題は残りましたが、バス路線が来年夏までには新設される事となり、現在京成バスが準備を行っています。

地域の課題

- ・ 来春の宮野木(土木事務所・オートウェイブ付近)～稲毛駅のバス路線新設後に、稲毛駅への急行も新設を。
- ・ 高速バス駐車場(三角町)整備(パーク&ライド)による、東京駅までの高速バス増便と、急行便の創設。
- ・ 宮野木地区のバス停の駐輪場の改良。京葉自動車教習所～国道16号線までの渋滞軽減を。

1、教員の学級経営について

小松崎：近年、学級や学校に通うこと困難を感じている児童生徒がふえています、また文部科学省の通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果によると、**学習面または行動面で著しい困難を示す児童生徒の割合は6.5%と公表**されました。授業中に断りもなく立ち歩き、自分勝手な行動を取り、授業の妨げになるというような場合もあると聞いています。先天性や家庭のしつけに問題があるということは認識していても、**現実**に学校現場では適切な対応が迫られている事も事実です。鉛筆を無断で廊下に削りに行くというような事例もあるそうです。我々が小学生の頃は、生理現象のトイレ以外は、離席は無く。トイレの時も先生に断って行きました。学級崩壊ではなくても他動性のような現状があります。1時間目と2時間目の間でチャイムが1回しか鳴らない。本来、1時間目と2時間目のカリキュラムは調整の裁量があっているが、今、立ち歩きや様々な状況が起きている場合においては、やはり時間を区切ったメリハリあるチャイムのほうがいいのではないかと。特別な支援が必要な児童生徒への対応はどのようになっているか。

当局：発達障害の可能性があり、不適応状態が継続している場合には、学校からの要請に応じ特別支援教育指導員や学校支援員を配置し、本人の特性に応じた支援を行っている。緊急に対応が必要なADHD等の児童生徒を支援するために35人の特別支援教育指導員を前期、後期、それぞれ35学級に配置している。

小松崎：市内155校あるうちで、今35学級ということですが、私がお聞きしたところによりますと、この35学級以外にも、やはりこのあと学級経営が厳しくなってくるような状況があると聞いております。指導員をあと15人か20人の増員を要望します。クラス替えも有効に行い、地域でこういった情報をうまく共有していくことが重要だと思います。**PTAの役員が見守りで各教室を巡回**するという状況も伺っていますが、若い方は時間の制約もあり、**地域の例えば自治会の方々、少年野球のコーチ等で平日昼間に時間のある方等に**協力を依頼し、活用すべき。

多動性障害とは・・・
興味のある事には集中可能だが、その他は殆ど関心を示さず、落ち着きを欠く子供、多くは成長と共に改善される。小学校高学年になっても変わりなく、他児との関係がうまくとれず、衝動性を増してくる子どもが意外に多い、児童精神医学では発達性障害の一部とされる。



想定外を対応可能に!!

災害や突然の事象に対して想定外を無くす、という事は不可能ですが、出来る限りの準備で、ダメージを最少にする市政に努めます。

2、ことぶき大学について

小松崎：ことぶき大学校は地域に交流を持つ第一歩として、また、介護保険導入時に介護予防による医療費の削減も事業の目的。派手に公費でカルチャーセンターを行えという趣旨ではなく、**外出をふやし、健康のままの長寿というのがやはり求められる。**市はことぶき大学校の見直しを行いました。見直しの趣旨及び現況についてお伺いします。当局回答：習得した知識や技能を卒業後に生かすことで、**地域活動のリーダーやボランティア活動を行う人材を育成**することを目的としている。今年度から福祉健康学科を2クラスから3クラスに変更し、78名の方が入学。コーディネーターを配置し、定員、実施方法など工夫して人材育成に取り組んでいく。

小松崎：聞くところによると、今後、指定管理者には事業団は応募させないとのこと、しかし、**この事業に指定管理者がなじまない**と考えています。**指定管理委託料が非常に高額になってしまうという可能性**もあり、内容が著しく低下してしまう心配もある。指定管理者にインセンティブを与えるのは難しい。講師の部分とか学校の運営について工夫できる場所もある。しかし、3,000万円の使い道というのは、事業団に非公募という形でも一つの方法ではないかと思っている。**当局の肝いりで力を入れているという健康福祉学科の受講者からも、カリキュラムのボリュームが少ない**ということをお聞きしている。資格スクールではなく、民業圧迫にもなることから、ヘルパーの資格をそこで取得させるべきではありません。しかし老老介護等これらに対応するカリキュラムとしては足りない。介護人材が不足していることに対し、補助員程度であればできるようなカリキュラムというのでも組んでいただきたい。また、深く学びたい人と浅く学びたい人もいる、**1年制と2年制を併設してみたらどうか。1年目には基礎的なものを身につけ、2年目には、指導者、上級者コース**ということ、**また新たな地域貢献がふえていく**のではないかと。

受益者負担の公平性からも、受益者はふえたほうが良い。簡単な講師をボランティアで講師をしてくださる方もいると考えられる。例えば、手を取り合うような社交ダンス、また、3回コースで一眼レフのカメラの扱い方、また、ウォーキングも、奥が深い。単発的な講習というのでも考える必要がある。園芸においては耕作放棄地があり、修了された方には、まとめて耕作放棄地を活用できるのではないかと。いずれにせよある**程度は教えられる先生として、自分の近隣に出向き、地域の公民館等で新たなコミュニティをつくる。**ことぶき大学校自体が無駄でという議員もいた。しかし、介護保険の導入時の本旨の**健康寿命と医療費削減**を考えれば、やはり継続が必要。

小松崎ふみよし・プロフィール

昭和45年(1970)4月30日生まれ
稲毛幼稚園卒業(現在、評議員)
千葉市立山王小学校卒業
千葉市立懐橋中学校卒業
千葉県立千葉北高等学校卒業
(現在 同窓会副会長)

法政大学法学部法律学科卒業
(現在、校友会千葉中央支部常任幹事)
衆議院議員うすい日出男秘書10年
公設第一秘書にて退職
千葉市議会議員(稲毛区選出)2期当選
総務・教育未来・都市建設委員長を歴任
自民党千葉市連青年局長

千葉市第37地区町内自治会連絡協議会顧問(山王中学校区)
千葉市少年軟式野球連盟顧問
稲毛区少年軟式野球連盟顧問
千葉市アーチェリー協会会長

事務所

〒263-0002 千葉市稲毛区山王町112-1
電話：043-424-0001 FAX：043-421-6667
E-mail：fumiyoshi@joy.hi-ho.ne.jp
事務所開設時間【水・金】10:00-12:00
【水】13:00-16:00



(不在時は小松崎本人の携帯に転送されます)
お問い合わせ・ご意見お待ちしております。